

平成29年度事業報告

(自：平成29年6月1日～至：平成30年5月31日)

はじめに

平成29年度は、既存事業の見直し・整備と新しい事業の模索・検討を目標において事業を進めてきたが、既存事業は概ね計画通りの遂行を果たすとともに、若干の量的拡大を生み出した。

また、新規事業については、いくつか具体的検討が行われ、次年度には、確実に事業として成立する見通しを得ることができた。

1. 認定職業訓練事業（公益）

職業能力開発促進法に基づく認定職業訓練として、「ビルクリーニング科一級技能士コース」、「ビル設備管理科一級技能士コース」及び「ビル設備管理科二級技能士コース」を実施した。

1-1. ビルクリーニング科訓練事業

(1) 一級技能士コース

1) 平成28年度訓練の修了

前年度訓練の残り3ヵ月間（平成29年6月～8月）を予定通り実施し、修了した。

実施地区 本部

訓練人員 44名

修了者数 40名

集合訓練

学科 3日間21時間（平成29年8月）

実技(第1回) 2日間14時間（平成29年6月）

実技(第2回) 2日間14時間（平成29年7月）

修了時試験 1日 2時間（平成29年8月4日）

2) 平成29年度訓練の実施

本年度認定訓練の募集を行い、本部に加え5支部で実施した。

訓練期間 9ヵ月間（平成29年9月～平成30年5月）

計画人員 124名

実施地区 本部及び5支部（東北、中部、近畿、中国及び九州）

通信制訓練 添削指導9ヵ月間（平成29年9月～平成30年5月）

※なお、集合訓練は下記のとおり次年度に実施する予定。

・実技（第1回）平成30年6月、（第2回）は平成30年7月

・学科 平成30年7月31日から8月2日の3日間

・修了時試験 平成30年8月3日

(2) 訓練内容の検討

訓練講習体制を充実するため、専門委員会においてカリキュラムやテキスト、添削問題等の改訂作業を行った。

1-2. ビル設備管理科訓練事業

(1) 一級技能士コース

訓練期間	1年（平成29年4月～平成30年3月）
実施地区	本部及び近畿支部
訓練者数	12名（本部10名・近畿支部2名）
修了者数	12名（本部10名・近畿支部2名）
通信訓練	添削指導8ヵ月間（平成29年4月～11月）
集合訓練	平成29年10月～平成30年3月1日
実技	21時間（7時間×3日間）
学科	21時間（7時間×3日間）
学科修了時試験	0.5日（平成30年3月2日）
エレベーター基礎研修	0.5日（平成30年3月2日）

(2) 二級技能士コース

訓練期間	1年（平成29年4月～平成30年3月）
実施地区	本部及び近畿支部
訓練者数	20名（本部6名、近畿支部14名）
修了者数	19名（本部5名、近畿支部14名）
通信訓練	添削指導8ヵ月間（平成29年4月～11月）
集合訓練	平成29年10月～平成30年3月1日
実技	21時間（7時間×3日間）
学科	21時間（7時間×3日間）
学科修了時試験	0.5日（平成30年3月2日）
エレベーター基礎研修	0.5日（平成30年3月2日）

(3) ビル設備管理訓練教材の見直し

ビル設備管理訓練の充実を図るため、専門委員会において添削問題及び修了時試験問題の改定を行った。

2. 教育訓練事業（公益）

2-1. ポリッシャー機器操作訓練特別講習事業

ビルクリーニング技能検定受検準備講習の受講者をはじめ、機器操作の未熟な清掃作業者を対象に、「ポリッシャー機器操作特別講習会（コードの巻き取り動作まで）」を実施した。

①中部支部：平成29年6月5日実施（受講者数14名）

②近畿支部：平成29年6月7日実施（受講者数10名）

2-2. エレベーター閉じ込め事故救出作業者基礎研修事業

「地震及び災害時におけるエレベーター閉じ込め救出作業者基礎研修」について、エレベーターメーカーの協力の基に昨年同様、「ビル設備管理科一級及び二級技能士コース」の学科修了時試験日（平成30年3月2日）に実施した。

・受講者数31名（本部17名、近畿支部14名）

2-3. ビルクリーニング技術研究講習

ビルクリーニング技術に係る新しい情報、課題（メンテナンス方法、資機材、建材仕上げ材等々）について取り上げ、基礎知識から対応事例まで講習会形式での提供を行い、訓練事業の開発への示唆も得るものとして、「ビルクリーニング技術セミナー」を下記のとおり開催した。年2回の開催を目指したが、1回の開催にとどまった。

名 称；ビルクリーニング技術セミナー

テーマ；悪臭・脱臭の基礎

(この他「体育館の床板の剥離による負傷事故」についても取り上げた)

開催日；平成 29 年 11 月 30 日 13 時～17 時

会 場；ビルメンテナンス会館

受講者；42 名

2-4. 労働安全衛生講習並びにビルメンテナンス関連講習

労働安全衛生水準の向上を目的に、次の労働安全衛生講習を実施した。

なお、受講者数が定員を見込めない講習については、企業内研修の依頼がある場合に講師派遣事業として対応した。

(1) 職長・安全衛生責任者教育

第 1 回：平成 29 年 8 月 22 日～23 日／受講者 25 名

第 2 回：平成 30 年 2 月 8 日～9 日／受講者 24 名

第 3 回：平成 30 年 5 月 10 日～11 日／受講者 11 名

(2) BM業における雇入れ時の基礎教育

第 1 回：平成 29 年 11 月 8 日～9 日／受講者 20 名

(3) BM業における経営者・幹部のための安全衛生

第 1 回：平成 29 年 10 月 24 日～25 日／受講者 6 名

(4) 講師派遣講習の実施

①大星ビル管理(株)：ビル管理技術者受験対策講座（平成 29 年 6 月実施）

②野村不動産パートナーズ(株)：ビル管理技術者受験対策講座
（平成 29 年 6 月～9 月実施）

③(株)サルーテ：社内労働安全大会における講演（平成 29 年 9 月実施）

④東武ビルマネジメント(株)：ビル設備管理初任者教育（平成 29 年 10 月実施）

⑤東京ガスファシリティサービス(株)：ビル設備管理中堅技術者教育
（平成 30 年 2 月～3 月実施）

2-5. 教育研修講師育成事業

職業訓練を担当する指導講師の資質向上並びに各支部の指導体制の充実を図るため、ビルクリーニング及びビル設備管理における指導講師の中央研修並びに支部水準調整会議を開催した。

(1) ビルクリーニング関係

1) ビルクリーニング科指導講師中央研修

実施日 平成 30 年 4 月 24 日～25 日

会 場 本部

対 象 各支部統括・副統括指導講師及び実技模範演技者 出席者計 30 名

2) ビルクリーニング科指導講師・各支部水準調整会議

実施日 平成 29 年 9 月～11 月、平成 30 年 5 月

会 場 本部及び 7 支部

対 象 各支部の指導講師

3) 1 級ビルクリーニング科訓練・通信添削指導講師水準調整会議

実施日 平成 29 年 9 月 27 日

会 場 本部及び 7 支部（テレビ会議）

対 象 各支部の指導講師 出席者計 21 名

※訓練を実施しない北海道及び四国の 2 支部からも 1 名ずつ出席した。

(2) ビル設備管理関係

平成 29 年度は技能検定受検準備講習、認定訓練及び初級技術者講習の開催に合わせ、本部及び各支部で指導講師水準調整会議を実施した。

1) ビル設備管理科訓練・集合訓練水準調整会議

実施日 (本部) 平成 29 年 11 月 27 日 指導講師 9 名
(近畿支部) 平成 29 年 11 月 10 日 指導講師 8 名

2) ビル設備管理科訓練・添削担当指導講師水準調整会議

添削指導方針及び添削担当指導講師を変更しないこととしたため、開催を見合わせた。

3) ビル設備管理技能検定受検準備講習・水準調整会議

実施日 (本部) 平成 29 年 8 月 7 日 指導講師 9 名
(近畿支部) 平成 29 年 7 月 5 日 指導講師 7 名

4) ビル設備管理初級技術者講習・水準調整会議

実施日 平成 30 年 5 月 11 日

会場 本部及び 3 支部 (中部、近畿及び九州)

出席者 指導講師 12 名 (本部 5 名、中部支部 2 名、近畿支部 1 名、九州支部 4 名)

(3) 講師の育成と確保

講師の育成・確保の方策を確立するため、公益社団法人全国ビルメンテナンス協会 (以下、全国協会という) 技術支援委員会と協働して講師制度確立に関する検討を行うとともに、引き続き訓練センターに専任講師を置き、センター講師の充実に努めるとともに、関係団体の会議や講習講師として派遣した。

3. 教育訓練支援事業 (公益)

「ビルメンヒューマンフェア&クリーン EXPO 2017」の中で開催された『第 15 回ビルクリーニング技能競技会』の企画、運営を担当し、各支部及び指導講師など多くの関係者の協力により、下記のとおり盛会裏に終了した。

競技課題；床の表面洗浄

日時；平成 29 年 11 月 15 日 9 時～17 時

出場選手；9 地区代表 18 名

表彰；厚生労働大臣賞、東京都知事賞、厚生労働省人材開発統括官賞、中央職業能力開発協会長賞、全国ビルメンテナンス協会長賞、建築物管理訓練センター理事長賞 (本年は応援団賞の表彰も行った)

審査員；9 支部統括・副統括指導講師

4. 受検準備講習事業 (収益)

全国協会が実施するビルクリーニング技能検定 (一級・二級・三級)、ビル設備管理技能検定 (一級・二級)、設備管理初級教育及び全国ハウスクリーニング協会が実施するハウスクリーニング技能検定 (単一等級) の受検準備講習を、下記の通り実施した。なお、いずれも当初計画の定員を満了すまでには至らなかったが、設備管理初級技術者のための基礎教育は、ほぼ定員の受講生を集めた。

(1) ビルクリーニング技能検定受検準備講習

1) 一級ビルクリーニング技能検定受検準備講習

実施時期 平成 29 年 10 月～12 月

実施地区 本部及び 7 支部

受講者数 257 名

講習時間数 実技 14 時間 (7 時間×2 日間)

学科 14 時間 (7 時間×2 日間)

2) 二級ビルクリーニング技能検定受検準備講習

①第1回

実施時期 平成29年6月
実施地区 中部及び近畿の2支部
受講者数 68名(中部支部29名、近畿支部39名)
講習時間数 実技 7時間(1日間)
 学科 7時間(1日間)

②第2回

実施時期 平成30年5月
実施地区 本部及び中国支部
受講者数 53名(本部48名、中国支部5名)
講習時間数 実技 7時間(1日間)
 学科 7時間(1日間)
 ※中国を除く6支部については、平成30年6月に開催予定

3) 三級ビルクリーニング技能検定受検準備講習

実施時期 平成29年10月～11月
実施地区 本部及び7支部
受講者数 119名
講習時間数 実技 7時間(1日)
 学科 7時間(1日)

4) 「三級ビルクリーニング受検準備講習」の開催支援

全国協会が実施する各都道府県協会との連携事業の中で、三級ビルクリーニング受検準備講習の各県協会での実施支援を企画、実施を呼びかけたが、受検需要が十分つかめない状況の中で実施までには至らなかった。

(2) ビル設備管理技能検定受検準備講習

1) 一級技能検定受検準備講習

本部 (実技) 実施日 平成29年8月21日～22日(2日間/14時間)
 受講者数 2名
 (学科) 申込者がなかったため、中止。
近畿支部 (実技) 実施日 平成29年7月11日～14日(4日間/28時間)
 平成29年7月19日～21日(3日間/21時間)
 受講者数 12名
 (学科) 申込者がなかったため、中止。

2) 二級技能検定受検準備講習

本部 (実技) 実施日 平成29年8月8日～10日(3日間/21時間)
 平成29年8月21日～22日(2日間/14時間)
 受講者数 16名
 (学科) 実施日 平成29年8月18日～10日(1日/7時間)
 受講者数 6名
近畿支部 (実技) 実施日 平成29年7月11日～13日(3日間/21時間)
 平成29年7月24日～26日(3日間/21時間)
 受講者数 25名
 (学科) 実施日 平成29年8月25日(1日/7時間)
 受講者数 8名

(3) ビル設備管理・初級技術者のための基礎教育

1) 第1回

- ①本部：平成29年6月5日～7日（3日間／21時間）受講者35名
 - ②近畿支部：平成29年6月13日～15日（3日間／21時間）受講者6名
- 2) 第2回
- ①九州支部：平成30年5月15日～17日（3日間／21時間）受講者14名
 - ②中部支部：平成30年5月23日～25日（3日間／21時間）受講者21名
- (4)ハウスクリーニング技能検定受検準備講習
- 実施時期 平成29年8月～9月
 - 実施地区 本部及び近畿支部
 - 受講者数 66名（東京32名、近畿34名）
 - 講習時間数 実技 10時間（7時間+3時間）
学科 7時間（1日）

5. 訓練教材販売事業（収益）

ビルクリーニング及びビル設備管理訓練・講習用教材の制作及び販売を行った。特にビルクリーニング関係教材については、複数等級別の訓練・講習実施に向け、テキストや問題集等の作成・改訂を行った。

5-1. ビルクリーニング関係教材について

- (1)「ビルクリーニング教科書（一級・二級・三級）」の増刷及び販売
- (2)「ビルクリーニング検定試験対策問題集（一級）」の作成及び販売
- (3)「ビルクリーニング検定試験対策問題集（二級・三級）」の制作
- (4)「ビルクリーニング実技テキスト」の増刷及び販売
- (5)「ビルクリーニング関係法令集」の普及及び販売
- (6)「新版教育訓練の進め方」の普及及び販売
- (7)「新時代のカーペットメンテナンス」の増刷及び販売
- (8)「2017 ビルクリーニング複数等級（一級・二級・三級・基礎二級）」DVDの普及及び販売
- (9)「基礎級ビルクリーニング実技訓練」DVDの全面改訂

5-2. ビル設備管理関係教材について

- (1)「一級・二級ビル設備管理教科書」の普及・販売
- (2)「ビル設備管理初級教科書」の普及・販売
- (3)「ビル設備管理二級実技作業」DVDの普及・販売

6. 施設管理受託事業（収益）

前年度に引き続き「産業医科大学」（北九州市）から設備運転管理業務を受託し、業務を遂行した。

7. 教育研修事務受託事業（収益）

全国協会が実施する医療関連サービスマーク（院内清掃業務）申請書類の指導に関する事務業務を受託した。

8. 評議員会・理事会・委員会等の運営管理

次の各会議を適宜開催した。

(1) 評議員会

(第1回) 平成29年6月30日、(第2回) 平成29年8月31日
(第3回) 平成30年4月26日

(2) 理事会

(第1回) 平成29年6月30日、(第2回) 平成29年8月31日
(臨時) 平成29年8月31日、(第3回) 平成30年4月26日

(3) 監事監査：平成29年6月23日

(4) 評議員選定委員会：平成29年8月31日

(5) 三役会議

(第1回) 平成29年6月30日、(第2回) 平成29年8月30日
(第3回) 平成30年1月15日、(第4回) 平成30年3月13日
(第5回) 平成30年4月6日

(6) ビルクリーニング教務委員会

(第1回) 平成29年8月29日、(第2回) 平成29年10月11日
(第3回) 平成30年2月15日、(第4回) 平成30年4月24日

(7) ビル設備管理教務委員会

(第1回) 平成29年6月26日、(第2回) 平成29年10月19日
(第3回) 平成30年3月8日、(第4回) 平成30年4月17日

9. 組織、規程の整備

組織のガバナンスを高めるため、諸規程の全面的改正を行い、事務運営体制の整備に努めた。

10. 指導講師表彰

職業訓練並びに各種講習の指導を永年に亘り担当し、その功績著しい指導講師について表彰するために、平成29年7月の全国協会の表彰に合わせて表彰式を開催した。

また、認定職業訓練において指導に携わった功績に対し、東京都産業労働局長感謝状候補者として指導講師5名を推薦し、うち3名については平成29年11月10日に受章の栄に浴した。

11. 運営及び管理

公益目的支出計画の円滑な遂行を図るとともに、訓練センターの財務体制の改善について、今年度も継続して見直しを図った。